

研修医しぐさ



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館

電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530

E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

平成29年10月発行

「研修医の皆様へ」

橋本市民病院 病院長 嶋田 浩介 先生



私は昭和54年から2年間、和歌山県立医科大学第二外科(その当時は消化器外科)で消化器外科医としての研修医生活を送りました。その当時は手術技術を学ぼうとしても、手術ビデオはなかなか手に入らず、先輩の手術を必死で見て学ぶしか方法はありませんでした。手術動画や医療情報がネットでいとも簡単に手に入る現在とは隔世の感があります。皆様の中にはすでに将来の診療科を決めておられる方もこれからじっくり考えたいと思っている方もおられると思いますが、出来るだけ色々な診療科をローテートし、少しでも多くの経験を積んでいただきたいと思います。たとえローテート出来なくても色々な診療科に興味を持ち、機会があれば勉強会に参加するなど、なるべくたくさんの情報を仕入れていただきたいと思います。そのことは皆さんにとって必ず大きな肥やしになってくれると思います。病院勤務の場合は、ある程度年数が経過すると担当診療科の仕事だけをしていけば良いというわけではなく、栄養(NST)、感染(ICT)、医療安全、褥瘡、災害医療(DMAT)、呼吸管理(RST)など組織横断的なメンバーで構成されるチーム医療の仕事を配分されることが多くあります。診療科以外のプラスアルファの知識を要求されたり、専門知識や技術習得のためにそれぞれの分野の研修や講習会への出席が必要になることも多く、普段の診療業務以外に、その活動にかなりの時間を使ったり、そのために貴重な休みを利用して研究会に出席することも要求されます。しかしそのことが本来の診療科での仕事にもいい意味で深みを与えてくれると思います。出来れば研修医の時代からこのようなチーム医療のスタッフの一員になり活動することを強くお勧めします。知識習得だけではなく、コメディカルとの良好な関係構築の重要性に気付くなど、よい経験が出来ると思います。研修医としての仕事だけでも大変なのだと思うかもしれませんが、時間のあるときだけでもいいから、何かのチームに参加してみてください。きっと得られるものは大きいはずです。皆様方が有意義な研修医生活を送られ、一生にわたり医師として勉強していく姿勢や基礎を学ばれることを心から祈念したいと思います。

平成29年度 新規採用研修医への 県医師会よりのガイダンス

日本赤十字社和歌山医療センターにて



和歌山県立医科大学附属病院
研修医センターにて



平成29年度 県内新臨床研修医歓迎会 (主催：和歌山県医師会)



第49回 和歌山県医師会 医学会総会

日医生涯教育協力講座セミナー
「超高齢社会における
高齢者のトータルケア」
～高齢者の健康寿命延伸に向けて～

日にち
平成29年11月19日(日)

場所
ホテルアパローム紀の国
午前中/一般演題 午後/講演会



世界医師会 (World Medical Association : WMA) の紹介

WMAは、1947年9月にパリで第1回総会が開催され、「医師の職業的独立性を確立し、常に最高水準の倫理観によって医療活動を行うこと」を目的として組織され、現在112カ国医師会が加盟し、これまでに医の倫理に関する「ジュネーブ宣言」、人間を対象とする医学研究の倫理的原則「ヘルシンキ宣言」、患者の権利に関する「リスボン宣言」等の文書を採択し公開しています。これらの文章は日医ホームページ(日本医師会>国際活動>世界医師会)にて「WMA医の倫理マニュアル」とともに掲載されています。是非一読ください。なお、横倉義武日本医師会会長は、今年2017年10月からWMAの第68代会長に就任されます。

子どもの救急対応講習会

日時：平成29年11月23日 午後1時30分
場所：和歌山商工会議所4階

【特別講演】『発達障害の特性を障害にしないために
～救急対応にも役立つ早期気づき・
早期支援の大切さ～』
和歌山県発達障害者支援センター顧問
小野 次朗

【講演】『子どもの救急対応について
～こんな時はどうするの?～』
和歌山小児科医会副会長
こばやし小児科院長 小林 昌和

主催：和歌山県医師会・和歌山小児科医師会

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 ～よりよい男女共同参画を目指して～

主 催：日本医師会女性医師支援センター
 発表演者：和歌山県立医科大学附属病院地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター、医学部公衆衛生学講座併任 講師の北野尚美先生
 日 時：平成28年12月2日 日本医師会館大講堂にて
 演 題：「和歌山県立医科大学医学部における女性医療者・医師研究者支援の取り組み～和歌山県医師会、県医務課との協働体制～」

講演内容： 当大学医学部のアドミッションポリシーとして大学の理念に基づき、次のような人を求めている。1.科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人2.医学を修得するための幅広い能力を有する人3.コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人4.地域医療に関心があり、国際的視野を有する人 である。歴史的には華岡青洲先生を開学の祖と仰ぐ「内外合一、活物究理」の精神や初代学長古武彌四郎先生のお言葉などが礎となっている。本学医学部募集定員として2010年現在で地域医療枠10名、県民医療枠20名を含む100名となっているが、地域医療枠、県民医療枠は特に女子が多い傾向があり今後県の保健医療計画にのっとり対応が必要となるかも知れない。

本学医学部卒前の取り組みとしては、3年生全員への特別講義枠(人権)2コマ「男女共

同参画社会に向けて」及び4年生全員への特別講義枠2コマ「ワークライフバランス講義」がある。また、卒前の取り組みとして、基礎系研究室配属期間中(約2カ月)、臨床実習期間中(約1カ月)に大学間国際交流の協定に基づいて、それぞれ海外での基礎研究、臨床実習ができる制度があるが、希望する割合が女性の方が高くなっている。また本学附属病院における(女性)医療者支援としての、託児施設(クレヨン保育園)において、2012年度より病児保育を実施、2016年度より医学部基礎系と保健看護学部教員にも利用拡大している。若手研究者支援として、研究遂行・継続のための能力向上を目指し、共同研究機器・動物実験施設、英文論文執筆・投稿、若手による部局横断的な研究体制の構築等の支援がある。また、科研費獲得のためのセミナーや個別相談や研究助成や研究奨励賞も設定している。なおその他の活動として、和歌山県医師会との協働により新臨床研修医へのガイダンス、歓迎会、医学生・研修医等をサポートするための会、研修医レター配布、女性医師メンター制度、女性医師の勤務環境の整備に関する病院長・病院開設者・管理者への講習会等、がある。



(当日シンポジスト)

第15回女性医療フォーラム

日 時：10月21日(土) 14:00~17:30
 場 所：和歌山県JAビル2階 なごみホール
 テー マ：「知力が超高齢社会を支える」
 シンポジウム：超高齢社会をみんなで考える
 基調講演：医療関連連携と在宅医療
 特別講演：「糖尿病と向き合う
 -私の歩いた一筋の道-」

主幹：和歌山ろうさい病院

第21回 Wakayama JOYJOY meeting

日 時：11月16日(木) 19:00~20:20
 場 所：ダイワロイネット和歌山
 「COPD up to date (仮)」
 講 師：京都大学呼吸器内科
 松本 久子 先生



託児サービス

県医師会、都市医師会、所属部会主催の講演会(製薬会社共催も含む)では、託児サービスを設置できます。託児の場所代やシッター費用を実費補助いたします。
 和歌山県医師会迄、お問い合わせ下さい。

◆日本医師会女性医師バンク◆

バンクのコーディネーターは全員医師です。男性女性問わずバンクにご相談、求人、求職の成立はすべて無料です。
 電話番号は03-3942-6512です。お気軽にご相談下さい。

(文責：和歌山県医師会 榎本多津子・木下智弘)